

**2022年度（2023年3月期）
第3四半期決算
カンファレンスコール**

2023年1月31日

住友ファーマ株式会社

将来予測に関する事項

- 本資料には、当社グループに関する業績その他の予想、見通し、目標、計画その他の将来に関する事項が含まれています。これらの事項は、作成時点において入手可能な情報による当社の仮定、見積り、見通しその他の判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。したがって、その後のさまざまな要因により、予想・計画・目標等が記載どおりに実現しない可能性や、実際の業績、開発の成否・進捗その他の見通し等が記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。医薬品・医療機器（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- 連結子会社であるマイオバント社はニューヨーク証券取引所に上場しており、当社グループはマイオバント社の発行済株式の約52%を保有しています。オルゴビクス（レルゴリクス）、マイフェンブリー/ライエクオ（レルゴリクス配合剤）はマイオバント社の製品です。本資料にはマイオバント社に関する情報が含まれていますが、これらは同社による開示済の情報に基づいています。マイオバント社に関する詳細については、<https://www.myovant.com>をご覧ください。

追加情報およびその入手場所

- 本資料は、企図されるスミトバント社および当社によるマイオバント社の買収に係る勧誘文書と見做される可能性があります。当該企図される買収に関連して、スミトバント社、当社およびマイオバント社は、Schedule 13Dの訂正報告書、Schedule 13E-3を用いた当社およびスミトバント社に係る取引の詳細ならびにSchedule 14Aを用いたマイオバント社の委任状を含む関係書類およびこれらの追加・訂正書類を米国証券取引委員会（SEC）に提出しています。SECに提出された当社およびスミトバント社の取引詳細ならびにマイオバント社の委任状を含む関係書類には企図される取引に関する重要な情報が含まれることから、同社の株主におかれましては、これらの書類をすべてお読みになるようお願いいたします。投資家および証券保有者におかれましては、これらの書類をSECのウェブサイト（<http://www.sec.gov>）にて、無償で入手することができます。また、マイオバント社の株主におかれましては、これら書類を同社のウェブサイト（<https://www.myovant.com>）のIRページより無償で入手することができます。

勧誘への参加者

- スミトバント社、その取締役および執行役員、当社、その取締役および執行役員、ならびに、マイオバント社、その取締役および執行役員は、企図される取引に関し、マイオバント社の普通株主に対する委任状勧誘への参加者と見做される可能性があります。当社の取締役および執行役員に関する情報は、2023年1月23日付けでSECに提出されたSchedule 13E-3を用いた当社およびスミトバント社に係る取引の詳細に、マイオバント社の取締役および執行役員に関する情報は、2023年1月23日付けでSECに提出された同社の株主総会の委任状に記載のとおりです。当該参加者の利害関係に関する追加情報は、本件に関する委任状が提供された後にこれを参照することにより入手可能です。

2022年度3Q決算概要

2022年度3Q決算概要

2022年度第3四半期 経営成績（コアベース）

金額単位：億円

	2021年度 3Q実績	2022年度 3Q実績	前年同期比			2022年度	
			増減額	うち 為替影響	%	10/31予想	%
売上収益	4,321	4,603	282	560	6.5	6,040	76.2
売上原価	1,178	1,397	219	176	18.6	1,820	76.8
売上総利益	3,142	3,205	63	384	2.0	4,220	76.0
販売費及び一般管理費	1,886	2,275	389	319	20.6	3,120	72.9
研究開発費	678	749	71	98	10.4	1,000	74.9
その他の収益・費用（コア内）	11	※ 248	236	46	—	220	112.5
コア営業利益	590	429	△160	13	△27.2	320	134.1
条件付対価公正価値の変動額（△：損）	△2	12	15			10	
その他の非経常項目（△：損）	△5	△619	△614			△630	
営業利益	582	△178	△760		—	△300	—
金融収益・費用	74	200	126				
税引前四半期（当期）利益	656	22	△634		△96.7		
法人所得税	304	348	44				
四半期（当期）利益	352	△326	△678		—		
親会社の所有者に 帰属する四半期（当期）利益	464	△185	△649		—	△150	—

【平均レート】

2021年度3Q実績：1\$ =111.14円 1元=17.26円
 2022年度3Q実績：1\$ =136.51円 1元=19.88円
 2022年度予想：1\$ =140.00円 1元=20.00円

【期末日レート】

2022年3月末：1\$ =122.41円 1元=19.26円
 2022年12月末：1\$ =132.71円 1元=19.02円

業績予想を修正しています
（P.11参照）

（参考）スミトバント社関連業績（億円）

	21年度 3Q	22年度 3Q
売上収益	251	670
販売費及び 一般管理費 ※	653	973
研究開発費	175	229
コア営業利益	△625	△590
営業利益	△625	△591
四半期利益	△634	△694
親会社所有者 帰属四半期利益	△522	△552

上記数値は当社グループ内取引を含む
※特許権の償却費を含む

- ※ その他の収益・費用の内訳
- ① 優先審査バウチャー売却
 - ② ブロバナ、ゾペネックス
HFA譲渡
 - ③ ルネスタ譲渡

2022年度3Q決算概要

主要製品売上収益（日本セグメント）

金額単位：億円

	2021年度	2022年度	前年同期比		2022年度	
	3Q実績	3Q実績	増減額	%	10/31予想	%
エクア・エクメット	294	273	△22	△7.3	349	78.1
トルリシティ *	258	248	△10	△3.7	238	104.2
トレリーフ	129	131	2	1.5	170	77.0
ラツータ	50	73	22	44.2	99	73.2
メトグルコ	63	60	△3	△4.8	78	76.8
ロナセンテープ	15	22	7	45.2	27	82.9
ツイミーグ	1	13	12	—	15	84.9
AG品	75	71	△4	△5.1	97	72.9
その他	287	132	△154	△53.9	185	71.4
合計	1,172	1,022	△150	△12.8	1,258	81.2

(注) 上記の各品目別の売上収益は、仕切価ベースで記載（*トルリシティのみ薬価ベース）

- トルリシティは12月末で終了
- ツイミーグは9月に処方日数制限解除
- 前年同期の「その他」のうち、リプレガルが107億円
- セグメント全体の薬価改定影響△95億円

2022年度3Q決算概要

主要製品売上収益（北米・中国セグメント）

	2021年度	2022年度	前年 同期比	2021年度	2022年度	前年同期比			2022年度		
	3Q実績	3Q実績		3Q実績	3Q実績	増減額	うち 為替影響	%	10/31予想	%	
北米セグメント	百万ドル			億円					百万ドル	億円	
ラツーダ	1,413	1,313	△100	1,571	1,793	222	333	14.1	1,726	2,416	74.2
アプティオム	186	191	4	207	260	53	48	25.6	255	357	72.9
リサイミック	—	22	22	—	30	30	6	—	46	64	46.6
ブロバナ	103	21	△83	115	28	△87	5	△75.5	24	34	82.6
キンモビ	4	2	△1	4	3	△1	1	△19.8	3	4	80.3
オルゴビクス	54	128	75	60	175	115	32	193.8	677	948	71.7
マイフェンブリー	8	21	13	5	29	24	5	521.8			
ジェムテサ	38	125	87	42	170	128	32	303.6			
その他 ※	449	224	△225	504	306	△198	57	△39.3			
合計	2,256	2,046	△209	2,507	2,794	287	519	11.4	2,731	3,823	73.1
中国セグメント	百万元			億円					百万元	億円	
メロペン	1,226	1,167	△60	212	232	20	31	9.6	1,290	258	89.9
その他	339	404	65	59	80	22	11	37.2	570	114	70.5
合計	1,566	1,571	5	270	312	42	41	15.6	1,860	372	83.9

※「その他」に含まれる主な一時金収益等

前年度	内容	金額	当年度	内容	金額
	大塚製薬との提携による収益	\$270M		オルゴビクスの欧州におけるライセンス契約に基づく一時金	\$50M
				子宮内膜症の承認取得によるマイルストーン収益	\$34M

- **北米セグメント**：為替の影響に加え、スミトバント製品の伸長により増収
- ラツーダはペイヤーミックスの変化による販売価格の低下
- ブロバナは2021年6月に独占販売期間終了
- 「その他」に含まれる一時金収益等が減少
(表下の内訳参照)
- **中国セグメント**：メロペンの集中購買が昨年11月開始

【為替レート】

2021年度3Q実績：1\$ =111.14円 1元=17.26円
 2022年度3Q実績：1\$ =136.51円 1元=19.88円
 2022年度予想：1\$ =140.00円 1元=20.00円

2022年度3Q決算概要

セグメント別 経営成績 (コアベース)

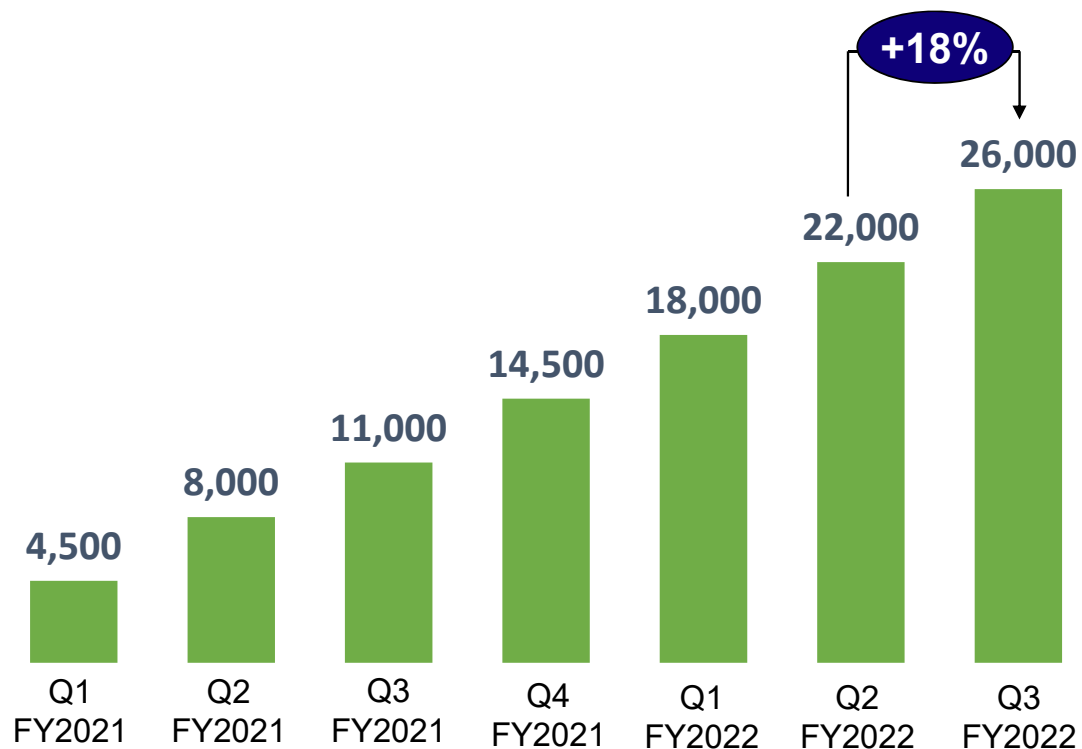
金額単位：億円

		医薬品事業					その他	連結
		日本	北米	中国	海外その他	合計		
3Q実績 2022年度	売上収益 (外部顧客向け)	1,022	2,794	312	135	4,263	340	4,603
	売上原価	542	491	60	37	1,130	267	1,397
	売上総利益	481	2,302	252	98	3,133	72	3,205
	販売費及び一般管理費	385	1,746	89	12	2,231	44	2,275
	コアセグメント利益	96	557	163	86	902	29	930
	研究開発費					729	19	749
	コア営業利益					420	10	429
3Q実績 2021年度	売上収益 (外部顧客向け)	1,172	2,507	270	73	4,022	299	4,321
	売上原価	619	236	53	40	948	230	1,178
	売上総利益	553	2,271	218	33	3,075	68	3,142
	販売費及び一般管理費	383	1,356	88	19	1,847	40	1,886
	コアセグメント利益	170	915	129	14	1,228	28	1,256
	研究開発費					672	6	678
	コア営業利益					567	22	590
増減額	売上収益 (外部顧客向け)	△150	287	42	62	241	41	282
	販売費及び一般管理費	1	389	1	△7	385	4	389
	コアセグメント利益	△74	△358	34	72	△326	1	△326
	研究開発費					57	13	71
	コア営業利益					△148	△12	△160

- **日本セグメント:** 薬価改定による減収によりコアセグメント利益は減益
- **北米セグメント:** スミトバントグループの費用の増加や為替換算による費用の増加が増収の影響を上回り、減益
- **中国セグメント:** 増収が寄与し、コアセグメント利益は増益
- **海外その他セグメント:** DSP-0187のライセンス契約に基づく一時金(\$50M)により増益

■ オルゴビクスのマーケティング状況

- 2022年度3Qに約4,000人への新規投与を開始（2022年度2Q比で18%増）



推定累積治療患者数

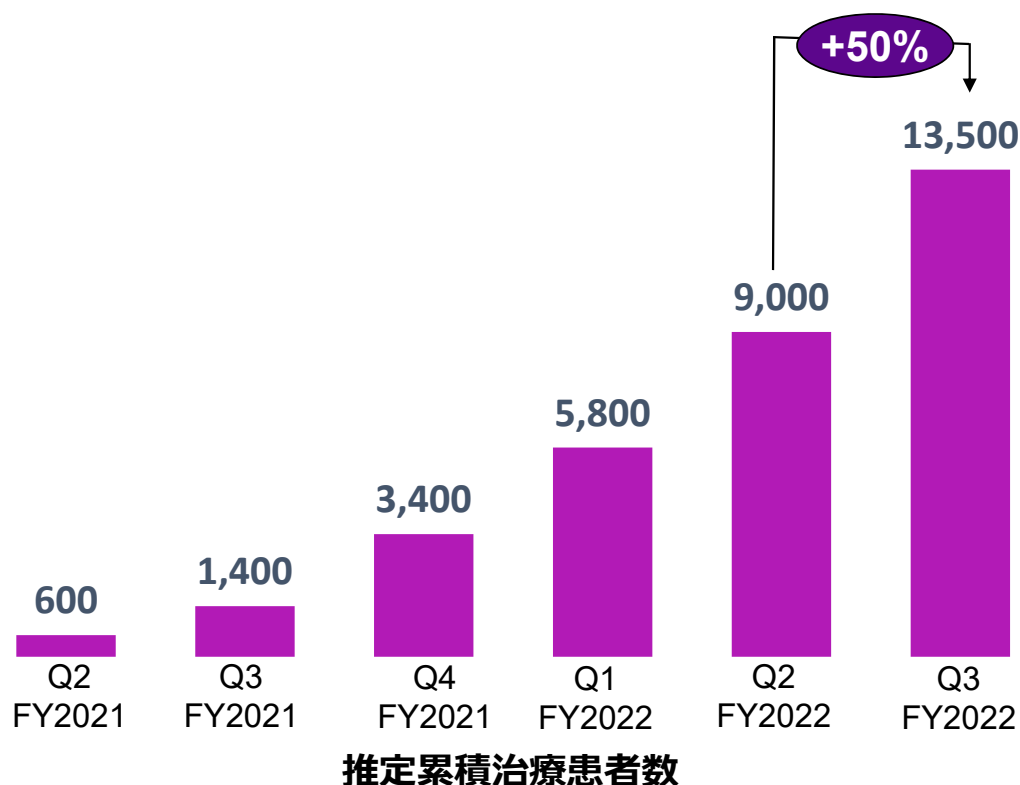
- 発売以来、約26,000人の患者さんに処方
- 進行性前立腺がんにおけるGnRHアンタゴニスト製剤でNo.1の59%の月間シェア獲得
- オルゴビクスの発売以来、進行性前立腺がんを対象としたGnRHアンタゴニスト製剤の市場は約2.6倍に拡大

出典：マイオバント社 Third Fiscal Quarter 2022 Public filings

2022年度3Q決算概要

■マイフェンブリーのマーケティング状況

- 2022年度3Qに約4,500人への新規投与を開始（2022年度2Q比で50%増）



- 発売以来、約13,500人の患者さんに処方
- 2022年12月末に子宮筋腫・子宮内膜症を対象としたGnRHアンタゴニスト製剤における新規処方箋枚数（NBRx）の38%のシェア獲得
- 2023年1月に、FDAに申請していた子宮筋腫を対象とした2年間の長期投与データ（LIBERTY randomized withdrawal study）の安全性・有効性データが添付文書に追加され、プロモーションに活用予定

出典：マイオバント社 Third Fiscal Quarter 2022 Public filings

■ ジェムテサのマーケティング状況

- 2022年12月に月間処方箋枚数 57,491枚を獲得するなど、2022年度計画に対して順調な進捗

	ジェムテサ	
	2022年9月	2022年12月
β3作動薬 処方箋枚数シェア	11.3%	13.3%
月間処方箋枚数	47,492	57,491

- 2022年9月に比べ、メディケア・パートDにおいてカバレッジが大幅に拡大。2022年度計画に対して計画通りの進捗

	ジェムテサ	
	2022年9月	2023年1月
民間保険全体（約1.8億人）	55%	55%
メディケア・パートD全体（約4,800万人）	30%	80%

- 2023年1月より、主要な市場・処方医・患者さんをカバーするテレビコマーシャルを開始しており、さらなる製品認知度向上、製品普及に取り組む

2022年度業績予想

2022年度業績予想

2022年度 業績予想 (コアベース)

金額単位：億円

	2022年度 10/31予想	2022年度 修正予想	従来予想比	
			増減額	為替影響
売上収益	6,040	5,630	△410	△137
売上原価	1,820	1,730	△90	△50
売上総利益	4,220	3,900	△320	△87
販売費及び一般管理費	3,120	3,080	△40	△83
研究開発費	1,000	980	△20	△25
その他の収益・費用 (コア内)	220	500	280	△9
コア営業利益	320	340	20	11
条件付対価公正価値の変動額 (△:損)	10	10	—	
その他の非経常項目 (△:損)	△630	△620	10	
営業利益	△300	△270	30	
親会社の所有者に帰属する当期利益	△150	△350	△200	
R O E (%)	△2.4	△6.6		
R O I C (%)	△1.0	△0.6		

【為替レート】

2022年度従来予想： 1\$ =140.00円 1元=20.00円

修正予想： 1\$ =135.00円 1元=19.50円

- **売上収益**：410億円の減額修正
(うち為替影響△137億円)

為替影響を除く修正額

日本 (+3億円)
北米 (△291億円)
中国 (+14億円)

- **販管費、研究開発費**：為替影響△108億円
マイオバント社の完全子会社化にかかるコストを織り込む

- **その他の収益 (コア内)**：3Qまでに計上した優先審査バウチャー売却、プロバナ・ゾペネックスHFA・ルネスタ譲渡に加え、住友ファーマフード&ケミカルの株式譲渡益を織り込む

- **その他の非経常項目**：2Qに計上したキンモビの減損等

2022年度業績予想

セグメント別 業績予想 (コアベース)

金額単位：億円

		医薬品事業					その他	連結
		日本	北米	中国	海外その他	合計		
修正 2022 年度 予想	売上収益 (外部顧客向け)	1,261	3,406	376	170	5,213	417	5,630
	売上原価	659	610	79	57	1,405	325	1,730
	売上総利益	602	2,796	297	113	3,808	92	3,900
	販売費及び一般管理費	521	2,356	115	18	3,010	70	3,080
	コアセグメント利益	81	440	182	95	798	22	820
	研究開発費					954	26	980
	コア営業利益					89	251	340
10 月 3 1 日 年 度 予 想	売上収益 (外部顧客向け)	1,258	3,823	372	170	5,623	417	6,040
	売上原価	661	699	79	56	1,495	325	1,820
	売上総利益	597	3,124	293	114	4,128	92	4,220
	販売費及び一般管理費	530	2,390	119	19	3,058	62	3,120
	コアセグメント利益	67	734	174	95	1,070	30	1,100
	研究開発費					974	26	1,000
	コア営業利益					316	4	320
増 減 額	売上収益 (外部顧客向け)	3	△417	4	0	△410	0	△410
	販売費及び一般管理費	△9	△34	△4	△1	△48	8	△40
	コアセグメント利益	14	△294	8	0	△272	△8	△280
	研究開発費					△20	0	△20
	コア営業利益					△227	247	20

- **日本セグメント:** 販管費の減少を見込み増益
- **北米セグメント:** ラツータ等の売上の減額とマイオバント社の完全子会社化に伴う費用の織り込みにより減益
- **中国セグメント:** メロペン売上を増額修正
- **その他:** コア営業利益に住友ファーマフード&ケミカルの株式譲渡益を織り込む

研究開発

研究開発

■ 主な開発品目一覧 (2023年1月31日現在)

 : 精神神経領域
 : ガン領域
 : 再生・細胞医薬分野
 : その他の領域
 : フロンティア事業
 2022年10月以降の変更部分は赤字で示しています

地域	フェーズ1		フェーズ2	フェーズ3	申請
日本	DSP-9632P (パーキンソン病におけるレボドパ誘発性ジスキネジア)	TP-3654 (骨髄線維症)	EPI-589 (ALS/医師主導治験)	ulotaront (SEP-363856) (統合失調症)	
	DSP-0187 (ナルコレプシー)	DSP-5336 (急性白血病)	他家iPS細胞由来細胞医薬 (パーキンソン病/医師主導治験)	ulotaront (SEP-363856) (全般性不安障害) *	
	DSP-0378 (ドラベ症候群、 レノックス・ガストー症候群)	DSP-0390 (膠芽腫)		SEP-4199 (双極 I 型障害うつ)	
米国	SEP-378608 (双極性障害)	TP-3654 (骨髄線維症)	EPI-589 (パーキンソン病/ALS)	ulotaront (SEP-363856) (統合失調症)	
	DSP-3905 (神経障害性疼痛)	DSP-5336 (急性白血病)	ulotaront (SEP-363856) (パーキンソン病に伴う精神病症状)	ulotaront (SEP-363856) (大うつ病補助療法) *	
	SEP-378614 (未定)	DSP-0390 (膠芽腫)	rodatristat ethyl (肺動脈性肺高血圧症)	ulotaront (SEP-363856) (全般性不安障害) *	
	SEP-380135 (未定)	TP-1287 (固形がん)	URO-902 (過活動膀胱)	SEP-4199 (双極 I 型障害うつ)	
	DSP-0038 (アルツハイマー病に伴う精神病症状)	TP-1454 (固形がん)		ジェムテサ (ビベグロン) (新効能: 前立腺肥大症を伴う過活動膀胱)	
	DSP-3456 (治療抵抗性うつ)	KSP-1007 (複雑性尿路感染症、 複雑性腹腔内感染症)			
中国			ulotaront (SEP-363856) (統合失調症)	lefamulin (細菌性市中肺炎)	

*フェーズ2/3試験

臨床開発の進捗状況（2022年10月31日からの主な変更点）

■ ulotaront

米国・日本：全般性不安障害（Generalized Anxiety Disorder: GAD）のフェーズ2/3試験を開始（大塚製薬との共同開発）

（ご参考）

ulotarontの全般性不安障害の試験概要

- 試験実施者：サノビオン/住友ファーマ
- 試験デザイン

対象患者	18～65歳の全般性不安障害の患者
群構成	・ ulotaront ・ プラセボ
主要評価項目	ベースラインから8週目のHAM-A合計スコアの変化量

■ ラツータ（ルラシドン塩酸塩）

中国：双極Ⅰ型障害うつ 開発中止（フェーズ3試験）

■ DSP-0509（guretolimod）

米国・日本：固形がん 試験中止（フェーズ1/2試験）、開発方針検討中

■ 開発方針検討中であったDSP-7888の開発中止を決定

研究開発

2022年度の主なイベント／目標（2023年1月31日現在）

✓ 完了したイベント／目標

2022年10月以降の変更部分は赤字で示しています

精神神経

- ulotaront : 2つの追加適応症の臨床試験の開始（ 大うつ病補助療法 全般性不安障害）
(SEP-363856) 統合失調症の米国でのフェーズ3試験、日本・中国でのフェーズ2/3試験の推進
- SEP-4199 : 双極 I 型障害うつのフェーズ3試験の推進

がん

- レルゴリクス : (欧州) 前立腺がんの承認取得
- 初期開発品の開発推進

再生・細胞医薬

- 他家iPS細胞由来細胞製品（加齢黄斑変性） : 企業治験開始
- 他家iPS細胞由来細胞製品（パーキンソン病） : 米国での治験開始
- 米国での細胞製品製造施設の建設着手（リサイミックおよび他家iPS細胞由来細胞製品対象）

感染症

- KSP-1007（薬剤耐性） : 米国でのフェーズ1試験の終了
- ユニバーサルインフルエンザワクチン、マラリアワクチン : 共同研究開発プロジェクトの推進

その他

- レルゴリクス : (米国) 子宮内膜症の承認取得
(欧州) 子宮内膜症の申請

フロンティア

- 製品上市 : (日本) MELTz手指運動リハビリテーションシステム
 (米国) メンタルヘルスVRコンテンツ（製品名 : First Resort、ジェネラルウェルネス品）
- 既存テーマ推進、上市製品の価値最大化を目的としたエビデンス構築 : 認知症行動・心理症状用機器など

参考資料

<目次>

- P.18 2022年度3Q
- P.19 2022年度業績予想
- P.20 2022年度業績予想
- P.21 研究開発
- P.22 研究開発
- P.23 研究開発

- 経営成績（フルベース）
- 主要製品売上収益（日本セグメント）
- 主要製品売上収益（北米・中国セグメント）
- 製品上市目標
- 再生・細胞医薬分野 上市・開発品目一覧
- 製品上市目標（フロンティア事業）

参考資料（2022年度3Q決算概要）

2022年度3Q 経営成績（フルベース）

金額単位：億円

	2021年度 3Q実績	2022年度 3Q実績	前年同期比	
			増減額	%
売上収益	4,321	4,603	282	6.5
売上原価	1,178	1,398	219	18.6
売上総利益	3,142	3,205	63	2.0
販売費及び一般管理費	1,890	2,895	1,004	53.1
研究開発費	678	760	82	12.1
その他の収益・費用	8	272	264	
営業利益	582	△178	△760	—
金融収益・費用	74	200	126	
税引前四半期利益	656	22	△634	△96.7
法人所得税	304	348	44	
四半期利益	352	△326	△678	—
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	464	△185	△649	—

参考資料（2022年度業績予想）

■主要製品売上収益（日本セグメント）

金額単位：億円

	2022年度 10/31予想	2022年度 修正予想	増減額
エクア・エクメット	349	341	△8
トルリシティ *	238	248	10
トレリーフ	170	170	—
ラツータ	99	93	△6
メトグルコ	78	78	—
ロナセンテープ	27	28	1
ツイミーグ	15	18	3
AG品	97	94	△3
その他	185	191	6
合計	1,258	1,261	3

（注） 上記の各品目別の売上収益は、仕切価ベースで記載（*トルリシティのみ薬価ベース）

■ エクア・エクメット、ラツータは厳しい競合環境の影響もあり減額修正

■ ツイミーグは増額

参考資料（2022年度業績予想）

■主要製品売上収益（北米・中国セグメント）

	2022年度 10/31予想	2022年度 修正予想	増減額	2022年度 10/31予想	2022年度 修正予想	増減額
北米セグメント	百万ドル			億円		
ラツーダ	1,726	1,565	△161	2,416	2,113	△304
アプティオム	255	255	—	357	345	△12
リサイミック	46	35	△11	64	48	△16
プロバナ	24	21	△3	34	28	△5
キンモビ	3	3	—	4	4	—
オルゴビクス	677	644	△33	948	868	△80
マイフェンブリー						
ジェムテサ						
その他						
合計	2,731	2,523	△208	3,823	3,406	△417
中国セグメント	百万元			億円		
メロペン	1,290	1,364	74	258	266	8
その他	570	562	△8	114	110	△4
合計	1,860	1,926	66	372	376	4

■ **北米セグメント**：為替の影響は△126億円
ラツーダはペイヤーミックスの変化による価格低下や、独占販売期間終了の影響を見直し、減収を見込む

■ **中国セグメント**：メロペンは集中購買の影響が想定よりやや緩やか

【為替レート】

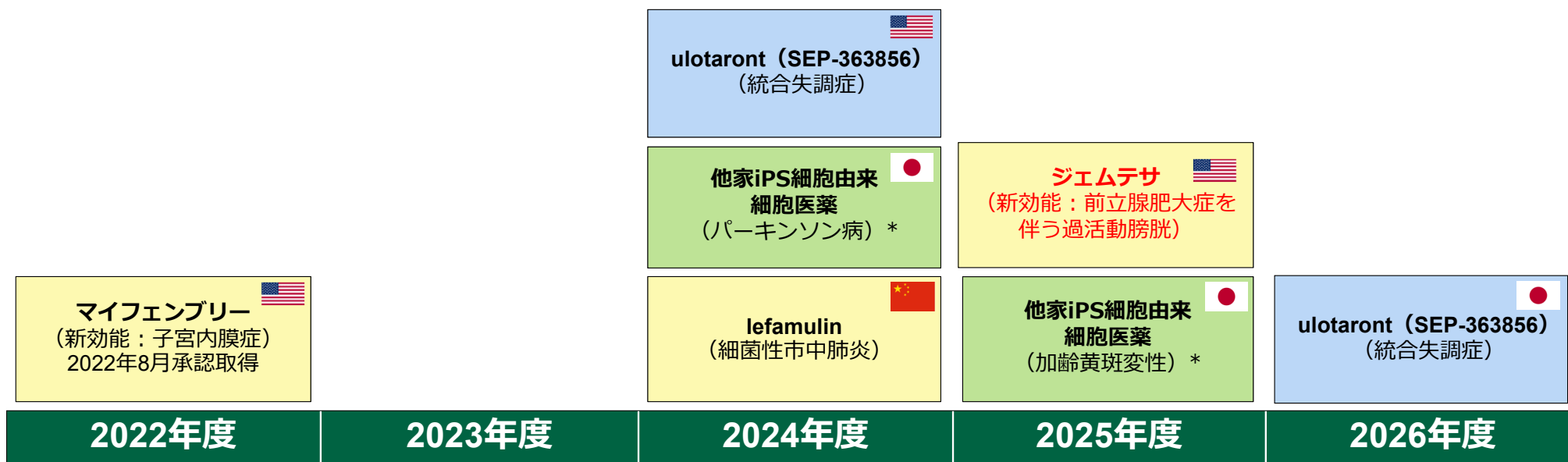
2022年度従来予想：1\$ =140.00円 1元=20.00円

修正予想：1\$ =135.00円 1元=19.50円

参考資料（研究開発）

製品上市目標（2023年1月31日現在）

2022年10月以降の変更部分は赤字で示しています



- 精神神経領域
- がん領域
- 再生・細胞医薬分野
- その他の領域

*連携先との合意ではない当社の目標

参考資料（研究開発）

再生・細胞医薬分野 上市・開発品目一覧（2023年1月31日現在）

2022年10月以降の変更はありません

予定適応症等	連携先	予定地域	細胞種	実施状況
小児先天性無胸腺症 (リサイミック)	デューク大学	Global	培養胸腺組織	2022年3月販売開始（米国）
加齢黄斑変性	ヘリオス 理化学研究所	Global	他家 iPS細胞由来 網膜色素上皮細胞	治験開始に向けて準備中 （日本）
パーキンソン病 (先駆け審査指定制度対象)	京都大学iPS 細胞研究所 (CiRA)	Global	他家 iPS細胞由来 ドパミン神経 前駆細胞	医師主導治験実施中 (フェーズ1/2試験) （日本） 治験開始に向けて準備中 （米国）
網膜色素変性	理化学研究所	Global	他家 iPS細胞由来 網膜シート (立体組織)	臨床研究実施中
脊髄損傷	慶應義塾大学 大阪医療センター	Global	他家 iPS細胞由来 神経前駆細胞	臨床研究実施中（亜急性期） 非臨床試験実施中（慢性期）
腎不全	東京慈恵会医科大学 バイオス	日本 北米	自家／他家 iPS細胞由来 ネフロン前駆細胞 (立体臓器)	非臨床試験実施中

2022年度
治験開始目標

2024年度
上市目標*

* 上市目標は連携先との合意ではない当社の目標

参考資料（研究開発）

製品上市目標（フロンティア事業）（2023年1月31日現在）

■ : 医療機器

■ : 非医療機器

2022年10月以降の変更部分は赤字で示しています

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度～
	ウェアラブル 脳波計 (認証)				バイオレット ライト (うつ)
MELTz 手指運動 リハビリテーション システム (認証) *1	自動採血・保存 デバイス				バイオレット ライト (認知症)
認知症行動・ 心理症状用機器*2	難聴者用マルチ 会話表示デバイス	バイオレット ライト (うつ)			デジタル うつ病診断医療機器
First Resort メンタルヘルス VRコンテンツ*3	ウェアラブル 脳波計	バイオレット ライト (認知症)	MELTz 手指運動 リハビリテーション システム (承認)	社交不安障害用 VRコンテンツ	認知症行動・ 心理症状用機器 (承認)
					VR事業 (疾患拡大)

*1 認証医療機器「能動型展伸・屈伸回転運動装置」（一般名収載）として当社が2022年9月に販売開始

*2 主に提携先（Aikomi社：当社関連会社）により試験販売を実施中。2023年度に本格販売予定

*3 主に提携先（BehaVR社）により2022年11月に試験販売を開始、正式販売後の利益は両社で折半

事業内容（デバイス販売、ソリューションビジネス、ロイヤリティなど）は製品により異なる

